

ロンドン五輪出場 渡部 香生子選手が 区長を表敬訪問しました

●第88回日本選手権水泳競技大会にて ロンドン五輪出場決定

4月7日に、競泳のロンドン五輪代表選考会を兼ねた日本選手権女子200メートル平泳ぎが行われ、葛飾区在住の渡部香生子(わたなべ かなこ)選手(JSS立石)が五輪派遣標準記録を突破する2分23秒56で2位に入り、ロンドン五輪出場を決めました。

●区長へ表敬訪問

4月19日に、ロンドン五輪に出場が決定した渡部選手が、青木克徳区長を表敬訪問しました。

表敬訪問には、渡部選手ご本人とお母さん、日本オリンピック委員会競泳強化スタッフでJSS立石ヘッドコーチ並びに葛飾区水泳連盟理事長である麻績 隆二(おみりゆうじ)さんと葛飾区水泳連盟会長の渡辺立春(わたなべ たちはる)さんが出席しました。葛飾区からは、青木区長、副区長、教育

長、教育次長、教育振興担当部長、総務部長、区議会副議長、文教委員長が列席しました。

渡部選手は「選考会で目標としていたタイムより1秒遅かったので、ロンドンでは目標タイムを出し、表彰台を目指したい。」と抱負を語りました。

表敬訪問の最後に、青木区長及び区議会副議長から記念品が贈呈されました。



生涯スポーツ課 ☎(3691)7113

「かつしか郷土かるた」 誕生!

「へえ ほんと 金魚の形 葛飾区」、
「ハーブ橋 ほんとなるかな ポロロ
ン」と。教育委員会が「子どもから大人まで、葛飾に住む誰もがいつまでもふるさとを愛し続けてほしい」という願いから制作を進めてきた「かつしか郷土かるた」が、2月に完成しました。

読み札の題材は、親子かるた作り教室や区内の児童・生徒から応募があった5千379首から、葛飾の自然、文化、歴史、産業などに分類し、地域性を考慮しながら選定しました。完成した44首の読み札には、子どもたちが身近に感じている葛飾区の魅力が詠まれ、その一つひとつに、子どもたちの言葉が活きています。

「かつしか郷土かるた」は、葛飾の歴史などを楽しく学べる教材として、小学校3年生から始まる郷土学習の時間に社会科副読本「のびゆく葛飾」とあわせて活用していく予定で、区内の小学3年生全児童に配布します。この3月に小・中学校に「かつしか郷土かるた」を配布したところ、校内でのかるた展示や、室内遊びの時間などであるたを楽しんでいるという声が届いています。これからも、子どもたちに広く楽しまれるように、学

校における活用を進めていきます。

また、地域でも、かるたに親しんでいただくため、地域を巡る「かるたパネル展」の実施や、かるた大会の開催に向けて、かつしか区民大学講座と連携しながら、大会ルールづくりや審判員養成講座の開催など、準備を進めていきます。

「かつしか郷土かるた」は、区役所区政情報コーナーをはじめ、郷土と天文の博物館、寅さん記念館など、区内数ヶ所で販売中です(1部500円)。ぜひ、ご家族やご近所でも、葛飾区の魅力を再発見できる「かつしか郷土かるた」を楽しんでください。



生涯学習課 ☎(5654)8475